

# 聖沢たきお 市政活動報告



9月議会 一般質問を中心に  
千曲市議会、理念と現実の橋渡し  
～より良い千曲市の未来へ～



市民の皆さまへ  
みなさまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より、私の市政活動に対して温かいご理解とご支援を賜り心より御礼申し上げます。私は千曲市議会議員として、「理念と現実の橋渡し」より良い千曲市の未来へを信条に、持続可能なまちづくりと市民福祉の向上に取り組んでおります。令和七年六月より社会文教常任委員会委員長を拝命致しました。教育・文化・福祉など市民生活の根幹を担う分野を所管する委員会の責任者として、誠実かつ丁寧な議論を重ね市民の皆さまの声を市政に反映してまいります。

九月議会では、未来の千曲市を見据えた戦略的な施策について、幅広い分野で一般質問を行いました。以下にその主な内容をご報告いたします。

## 一般質問の主な内容

### ① 高校再編と校地検討について

・長野県による高校再編において、校地検討部会が始まることから、新校の千曲市内への校地の在り方や地域への影響について市長、教育長に伺った。

・若者の教育環境と地域活性化の両立を目指し、市としての主体的な関与の必要性を提起し伺った。

### ② 持続可能な財政運営と未来戦略について

千曲市の財政は、実質収支は黒字を確保しており、健全な財政運営が継続されています。将来負担比率4.7%と安定的な水準にあり、将来世代への責任を果たす体制が整っていると評価できます。基金残高も取り崩しているとはいえ、一定水準を維持しており突発的な財政需要への対応力も確保されています。このことから現時点での財政破綻リスクは低いと判断されます。一方で経常収支比率は95.2%と高水準にあり財政の硬直化が進行している状況です。硬直化とは自由に使える財源の乏しさから毎年の予算の大部分が人件費や扶助費など固定的な経費に充てられており新規事業や柔軟な施策に使える財源が限られることを意味し自由度のある財政運営が制約を受けていることを示しています。持続可能性の観点からは注意が必要です。

経常収支比率を改善するためには、「経常的支出の削減」と「経常的収入の増加」の両面から戦略的な取り組みが必要です。

### D X推進本部の設置について

・全庁的な業務改革を推進するため、

D X推進本部の設置について伺った。

・部局横断的なデジタル化により、業務効率化・市民サービス向上・財政健全化を伺った。

D Xの推進は「財政のための手段」であると同時に「市民の未来を守る手段」でもあります。

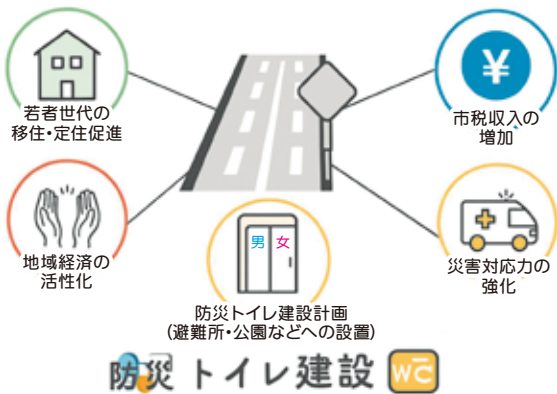
### 自主財源の確保策について

・経常収支比率改善（現状95.2%）に向けた具体策として、以下を提言・質問した。

### 新田区防災道路計画（令和六年六月議会にて請願提出満場一致で可決）

・新田区の防災道路計画整備は「安全上の向上」単なるインフラ整備だけではなく「若者の定住促進」「市税収入の安定化」「地域経済の活性化」という三重の効果をもたらす可能性があり、進捗状況と今後の予定について伺った。

### 新田区防災道路計画が地域にもたらす多面的効果



### 宿泊税導入（千曲市独自）の検討

・観光振興と財源確保を両立する制度設計の必要性を提示。

姥捨の棚田・あんずの里・重伝建地区稲荷山・戸倉上山田温泉など観光資源が豊富な千曲市での宿泊税導入を伺った。

### ふるさと納税の強化

・地域資源を活かした返礼品の充実とPR戦略の再構築を提案。

寄付の使途は「防災」「子育て」「観光・移住定住」「景観保全」など多岐にわたり寄付者の共感を得やすい構成。返礼品の魅力強化・寄付者へのストーリーテリング・市民参加型プロジェクトなど戦略的な活用を伺った。

### ③ 大田原区の移住定住策・地域おこし協力隊について

・全市的にも、地域おこし協力隊の活用による移住促進と地域活性化の可能性を質問した。

・大田原区の事例を通じて、全市的な空き家活用・地域資源の魅力発信の重要性を強調。

○大田原地区における空き家調査を実施する予定はあるか？

○地域住民主体の移住定住体制の構築に対して市の支援方針（資金や人etc.）はあるか？

○移住定住策の先進地モデルを千曲市に導入して運用する考えはあるか？

○地域おこし協力隊制度について、大田原地区など千曲市に再導入する考えは？

○大田原地区と清泉大学との連携をはかり地域づくりに活用できないか？以上伺った。

#### ④ 健康維持増進支援事業の補助金について

・市民の健康づくりを支援する事業に対し、補助金制度の継続と拡充の必要性を提起。

・千曲市内企業にお勤めの従業員のみなさまの健康診断費用への補助金について、社員はもちろん事業経営者への応援の見地からも制度の継続と拡充を伺った。

#### ⑤ 大正橋右岸堤防変状の今後について

・大正橋右岸堤防の変状に関する現状把握と今後の対応方針について質問。  
・防災・減災の観点から、国・県との連携による早期対応の必要性と根本的な拡幅補強工事を訴え今後の方針を伺った。



#### ■請願・陳情について

私が委員長をつとめる社会文教常任委員会に付託されました、請願・陳情について

#### 請願

「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」・義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める請願

#### 陳情

高額療養費の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める陳情

以上の請願、陳情については全議員が採択とされました。

#### ■賛否が分かれた議案について

「千曲市屋代駅市民ギャラリー条例の全部を改正する条例制定について」

この議案は屋代駅市民ギャラリーについて、市民の文化振興及び行政サービス充実の目的として活用してきたが、年々利用率の低下に伴い新たな活用として、子どもや若者の支援、居場所づくりや学習スペースの確保を目的とした条例の全部を改正するものでした。

議決結果は賛成5 反対13の原案否決でした。私は反対の立場から討論しましたので以下が反対討論の全文です。

議長、並びに議員各位。

私は、7番聖澤多貴雄でございます。屋代駅ギャラリー条例の全部改正案に対し、慎重なる反対の立場から討論を申し述べます。

本議案は総務委員会に付託されましたが、その内容は子どもや若者の育成支援や教育的活用に深く関わるものであり、本来であれば社会文教常任委員会での十分な議論が求められたものであります。市長が掲げる「屋代駅ギャラリーを子ども・若者支援の場として活用したい」という理念については、私も理解し共感する部分があります。屋代駅は千曲市の玄関口であり、人が行き交い、地域の歴史と文化が重なる象徴的な空間です。その空間を活かして、未来を担う世代が学び、交流し、そし

て地域とつながる機会をつくることは、地域の活力に寄与するものと考えます。また、駅を活用することで、不登校や孤立する若者がアクセスしやすい支援の場となり、公共空間が「誰ひとり取り残さない」地域づくりの象徴となる可能性もあります。

しかしながら、理念を実現するためには、丁寧で具体的な検討が不可欠です。本改正案には、以下のような重要な課題が未解決のまま残されています。

第二に、駅という開放的な空間が、繊細な子どもや若者にとって安心できる居場所になり得るのかという点です。視線が気になる、落ち着かないといった心理的ハードルが高い可能性があり、静粛性の確保、安心感の醸成、プライバシーへの配慮といった、居場所づくりに不可欠な環境整備が必要です。また、不登校支援や若者支援には、教育・福祉の専門的知見を持つスタッフによる常駐や連携が求められますが、その体制は明示されていません。

第二に、対象とする子ども・若者層のニーズが整理されていない点です。不登校の児童生徒、中学生、大学生、若年層の就労者など多様な層が存在しますが、どの層を主たる対象とし、どのニーズに應えるのが不明確です。既存の施設や事業との役割分担についても、十分な議論が行われたとは言えません。

第三に、教育委員会との協議状況が見えない点です。子どもや若者に関わる施策を進めるうえで教育委員会との連携は不可欠であり、その議論の深度は本来明らかにされるべきです。

第四に、改修費や人的配置を含む運営

費など、財政的な持続可能性がどのように担保されるかが示されておりません。理念先行でスタートしても、継続できなければ支援の場として機能しません。条例案の改正自体よりも、その後の具体的な内容を丁寧に詰めることが何よりも重要であります。これらの課題は、理念そのものを否定するものではなく、むしろ理念を現実の政策として確かな形で実現するために不可欠な検証項目です。議会は市民の負託を受け、公共の意思形成を担う場として、理念と現実をつなぐ責務を負っております。

以上の理由から、私は現時点では本改正案に反対いたします。しかしこれは理念への反対ではなく、より良い政策形成を求める前向きな姿勢であります。今後、市長には改めて丁寧な説明と議論をお願いし、議会と行政が協働して子ども・若者支援のあるべき姿を描き出していくことを期待し、反対討論といたします。

#### ⑥ 終わりに

今回9月議会一般質問の内容を中心に報告させていただきました。今後も千曲市の未来を見据え、課題の解決と温かみある対話を両立させながら、希望あるまちづくりを進めてまいります。財政の健全化と市民サービスの質の維持・向上は両立すべき使命です。12月2日から12月議会が招集されます。理念と現実の橋渡し役として、政策提言と対話を重ね、千曲市の未来に確かな一歩を刻んで参ります。今後ともご支援のほど、皆様のご理解とご協力を心よりよろしくお願い申し上げます。